

2012奥出雲サイクリング



▲一斉にスタートする参加者

秋の恒例イベント「奥出雲サイクリング」が九月十六日、町商工会青年部が主催し、さくらおろち湖自転車競技施設

を主会場として開催されました。当日は、秋の訪れを感じる爽やかな天候で、県内外からサイクリング愛好者など約四百人が参加して盛大に行われました。

開会式で、商工会青年部の米田貴弘部長から「奥出雲の大自然と空気を体全体で感じてほしい」とあいさつがあった後、各コースごとにスタート。炎太鼓の力強い演奏が会場を盛り上げる中、参加者はたくさんの声援を受け、こやかにペダルをこぎだしました。

参加者は、上阿井の可部屋

集成館を折り返し地点とするロングコース（四十七キロ）と、阿井川ダムを経由するミドルコース（約二十五キロ）、尾原ダムサイクリングコースを周回するショートコース（約十二キロ）の三コースに分かれ、奥出雲の自然を堪能しながらサイクリングを楽しみました。

ゴール後には、和牛焼肉と豚汁、出雲そば、奥出雲パーガー、仁多米を使ったライスバーガー、かしわめし、おにぎりなど多彩な昼食が用意され、コースを完走した参加者は、爽やかな表情で奥出雲の食に舌鼓を打ち、疲れを癒していました。

ユニクロ女子陸上部が町内合宿

国内外に多くの店舗を持つ衣料品販売会社「ユニクロ」の女子陸上部が、九月二十日から六日間、町内で合宿を行いました。

同陸上部の鈴木秀夫監督は、全日本実業団女子駅伝でチームを六度の優勝に導いた名監督で、昨年からユニクロで指導されています。

今回、六人の選手と二人のコーチとで合宿を行い、朝は

尾原ダム周辺でのランニング、昼は三成公園陸上競技場を使った合同タイムトライアルと、町内の施設を活用した練習が行われました。

鈴木監督は「地元の方からの食料応援などもあり、短期間ではあったが、選手たちはうまく調整できたように思う。今年の全日本実業団対抗女子駅伝では十位以内を目指したい」と抱負を述べました。



▲三成公園で練習に励む選手たち

第32回 島根県ホッケー選手権大会



九月九日、三成公園ホッケー場で第三十二回島根県ホッケー選手権大会が開催されました。

大会には、町内の小学校から男女合わせて二十一チーム、約百六十人が参加。会場に設けられた四つのコートで、予選リーグ、決勝トーナメントの熱戦が繰り広げられました。秋空の下、多くの保護者、友達、関係者の声援を受け、子どもたちは懸命にプレーしました。

大会成績

【男子一部】

優勝

馬木ホッケースポーツ少年団

準優勝

八川サムライブルー

【男子二部】

優勝

横小ラッキイイレブン

準優勝

鳥上風神雷神

【女子一部】

優勝

馬木ホッケースポーツ少年団

準優勝

みなりホッケースポーツ少年団

【女子二部】

優勝

八川スカイバンサー

準優勝

馬木ホッケークラブウイング

仁多地域で一斉に 地区民体育大会

9月23日、仁多地域一斉に地区民体育大会が開催されました。

各地区では、子どもから大人まで多くの方が会場に足を運び、競技や応援に心地よい汗を流しました。

また、競技の合間や昼休みには、応援合戦やアトラクションなども行われ、会場は大いに盛り上がりました。



布勢地区

息を合わせて「二人三脚」



三成地区

早く慎重に「満水リレー」



亀嵩地区

ボールを落とさないように「よちよちアヒルレース」



阿井地区

みんなでジャンプ「大縄とび」



三沢地区

力を合わせて「綱引き」

第八回奥出雲剣道大会

十月七日、第八回奥出雲町剣道大会が町民体育館で開催され、町内の剣道スポーツ少年団、中学校や高校の剣道部などから約百五十人の剣士が参加し、個人と団体で剣術を競いました。

参加した剣士たちは、チームメイトや保護者からの応援を受けながら、日頃の稽古の成果を発揮しようと懸命に戦っていました。



大会結果（各部門第一位）

- 【団体戦】
 - 小学生男子の部 八川剣道スポーツ少年団A
 - 小学生女子の部 八川剣道スポーツ少年団A
 - 中学生男子の部 横田中学校
 - 中学生女子の部 横田中学校
 - 高校・一般の部 布勢体協A
- 【個人戦】
 - 小学生低学年の部 小川 亮馬（鳥上）
 - 小学生男子中学年の部 三澤 紘樹（亀嵩）
 - 小学生男子高学年の部 松崎 将汰（八川）
 - 小学生女子中学年の部 堀江 初音（三成）
 - 小学生女子高学年の部 廣原あかり（横田）
 - 中学生男子の部 石橋 拓実（横田）
 - 中学・高校・一般女子の部 米原 良夢（亀嵩）
 - 高校・一般男子の部 渡部 洋一（阿井）